

様式 10

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で情報等を研究目的に利用または提供されることをご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	J-DOPPS (第8期調査) -日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査：第8期調査-
研究責任者 (所属)	若井 幸子 (地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立大久保病院 腎内科)
研究期間	倫理委員会承認後～2026年7月1日
研究概要	J-DOPPS は国際共同研究である Worldwide-DOPPS DOPPS の一部である。DOPPS の目的は世界各国の血液透析治療の実態を調査・比較し、血液透析患者の生存率等の治療成績に影響を及ぼす因子を検討することにある。 J-DOPPS の目的は日本における血液透析治療の実態のデータを収集し、国内における血液透析の診療と治療の発展に資することである。また、日本のデータを世界各国のデータと比較、検討することにより、透析治療の発展に寄与する。
試料・情報の外部機関への提供及び提供方法	該当しない
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	研究実施医療機関の長は研究の実施にあたり、個人情報の 管理責任者の設置を含む、個人情報の保護に必要な安全管理措置・体制を整備する。Worldwide-DOPPS 研究主宰者は、本研究における患者の個人情報が当該医療機関内に留まり、これを収集しない仕組みを構築する。具体的には、インターネット上の専用サイトで患者登録時に患者名は患者番号 6 桁の患者記号）に置き換えられるが、患者名と患者番号を連結する一覧表（以下、「対応表」）と、サイト上で患者名と患者番号を連結する「連結キー」は、当該医療機関内の調査関係者のみが閲覧可能とし、個人情報の管理責任者は、これら を紙で保管する場合は施錠できるキャビネット・書庫等に保管し、電子データを保管する場合は、セキュリティの掛かったフォルダ等へ保管して、漏えい、滅失又はき損が無い様、厳重に管理する。 インターネット上の専用サイトへ入力されるデータは、患者番号のみで識別され、データ自体も暗号化されて DOPPS データセンター Arbor Research) へ送信される。そのため、本研究で収集される研究対象者のデータは、患者アンケートを含め全て匿名化された情報であ

様式 10

	り、患者番号記号のみを識別に用いる方法で管理される。個人情報を含む資料は、研究 終了後 3 年間保存し、保存期間終了後は対応表を含め速やかに廃棄する。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
結果の公表について	本研究の結果は、学会発表、論文投稿などの形で公開されることがある。
研究の問合せ先	東京都新宿区歌舞伎町 2-44-1 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立大久保病院 腎内科 若井 幸子 TEL 03-5273-7711